

# ワイコム通信 Vol.5

今回のVol.5では、先日弊社が出展した「異業種展示会」について取り上げたいと思います。

先日、私たちは愛知県にある「ポートメッセなごや」にて環境をテーマに素材、リサイクル、リユースに関する商材、取り組みをご紹介しました。当日は緊張と期待が入り混じった雰囲気でしたが、ご来場者様との対話を通じて新たな視点を得ることや、市場のニーズもキャッチでき有意義な展示会となりました。これからも、変化と挑戦を恐れず、より良い未来を築いていきたいと思ひます。

さて、今回は弊社で出展した商材の中でご来場者の関心の高かった商材を順不同に紹介したいと思います。

第一回目の商材は「生分解性プラスチック」についてご紹介させていただきます。

# 生分解性プラスチック（酢酸セルロース）

## 生分解性プラスチックとは

まずは、生分解性プラスチックについて簡単に説明したいと思います。  
生分解性プラスチックとは微生物の力によって最終的に水と二酸化炭素に分解される特殊な素材のことを言います。  
通常のプラスチックとは一線を画し、自然の中で静かに姿を消すその特性は地球環境にとって重要な一歩を示唆しています。

## 酢酸セルロースとは

酢酸セルロースは木材やコットンより得られるセルロースを原料とした、環境に優しい樹脂として広く認知されています。  
に対しても安全性能が高く、容易に分解しないので生分解素材としては比較的直機的に使用することも出来ます。

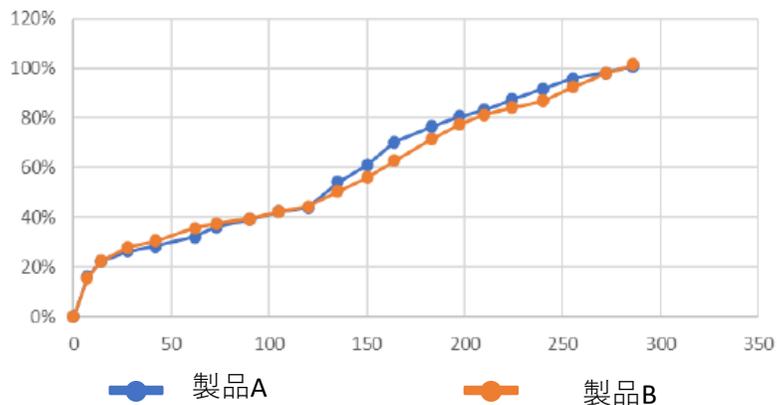
バイオマス承認取得状況



# 生分解性データ

## 土壌分解

- ◆ 試験温度：25°C 好気性環境
- ◆ 280日で100%生分解達成



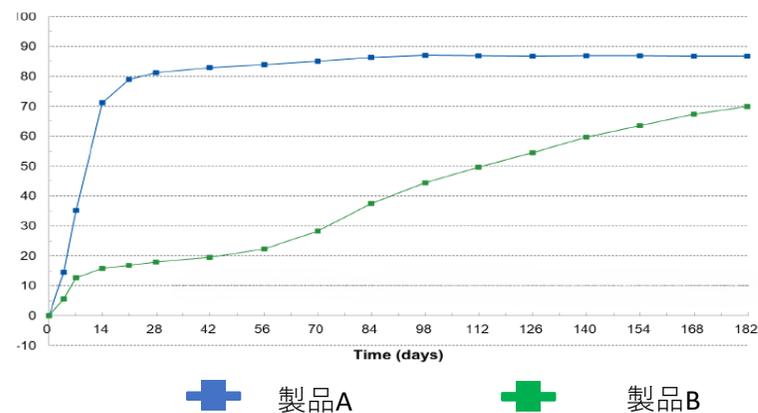
## 製品例

ストロー



## 海洋分解

- ◆ 試験温度：30°C 好気性環境
- ◆ 180日でセルロース比80%まで分解達成



コップ



トレー



## メリットと課題

生分解性プラスチックの最大のメリットは、**環境汚染、マイクロプラスチック問題**の抑制に繋がるという事です。特に一度使用されたプラスチック製品が自然に戻る可能性は、廃棄物問題に対する新たな解決策となり得ます。しかしながら、従来のプラスチック原料と比較すると製造コストが高いという問題もあります。

## 未来への展望

生分解性プラスチックは技術の進歩と共に改良が期待されています。新しい素材や製造プロセスの開発により、効率的かつ経済的に生分解性プラスチックを大量生産できるようになれば、環境への負荷を減らすだけでなく、プラスチック産業そのもののサステナビリティを向上させることができるでしょう。

また、親水性に優れており、表面に付着する水分子により**静電気を溜めにくい性質**を持っています。その特徴を活かし工業トレーなどにも適正があるのではないかと考えております。特にゴミの埋立処理が一般的で**環境問題に関心の高い欧州向けの工業トレー等**へ提案するのも良いかもしれません。

## まとめ

生分解性プラスチックは、環境への配慮がますます求められる現代社会において、未来への希望となる技術の一翼を担っています。その可能性を最大限に引き出し、課題を解決していくことが、持続可能な未来の構築に向けた大切なステップとなるでしょう。最後になりますが、今回の製品紹介について皆様の忌憚のないご意見を頂けますと幸いです。